

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 Antimicrobial Testing Leadership And Surveillance (ATLAS) — 抗菌薬の耐性傾向をモニターする試験』

研究機関名 東邦大学医学部

研究責任者 微生物・感染症学講座 職位・氏名 教授・舘田一博

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は細菌の抗菌薬に対する世界的な耐性傾向把握することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、細菌感染症に対する適切な抗菌薬投与につながります。

【他機関への提供】

菌株は米国の専門の研究機関(International Health Management Associates)に送付して薬剤感受性検査と耐性因子の特定が行われます。患者様の性別、検体提出日、検体採取部位、菌の種類が報告されますが、患者様個人の特定につながる情報は提供されません。

提供は郵送の形式で行います。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 患者様から日常臨床で検出された菌株

情報: 年齢、性別、検体情報など

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年6月より提供を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授 舘田一博

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2024年1月～2026年3月までに東邦大学医療センター大森病院で診療を受け、微生物検査室へ検査材料が提出された方

方法: 検査材料から分離された菌株と診療録(カルテ)から抽出したデータを提供します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 研究代表者: 舘田一博 役職: 教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授 舘田一博（講座責任者）

International Health Management Associates Aaron Johnson

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授 舘田一博

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記へご連絡下さい。

試料や情報を研究に利用することを承諾されない場合の対象期間と連絡期限は以下の通りです。

対象期間	連絡期限
2024年1月～4月	2024年5月31日
2024年5月～8月	2024年9月30日
2024年9月～12月	2025年1月31日
2025年1月～4月	2025年5月30日
2025年5月～8月	2025年9月30日
2025年9月～12月	2026年1月30日
2026年1月～3月	2026年4月30日

申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医学部微生物・感染症学講座

職位・氏名 教授・舘田一博

電話 03-3562-4151 内線 2396